

◆ 第73期「自然科学書フェア 2024」視察報告 ◆

第73期の「自然科学書フェア 2024」は、神奈川県藤沢市にある、ジュンク堂書店 藤沢店様にて、2024年5月14日（火）～7月31日（水）までの2ヶ月半にわたる開催となりました。

同店舗は、JR 藤沢駅北口のビックカメラ藤沢店7・8階にあり、880坪の広さがあります。藤沢駅は小田急線、江ノ島電鉄線のターミナル駅でもあり、通勤・通学者が多数利用しており、同店舗には目的買いで立ち寄る客層も多いとのこと。同店舗でのフェアは初開催となります。

池田理事長、村上副理事長、吉野販売・出展委員長、當山同委員（共立出版）、私鬼木に加えて、今期フェア開催にあたり委員交代までお力添えをいただきました石川元委員（金原出版）にも参加していただき、フェア中盤へ差し掛かる6月11日（火）に6名で視察し、今回フェアを担当していただいた原田氏はじめ、仁科氏、藤沢店前店長の佐藤氏と前自然科学書担当の堀口氏、そして新店長の武内氏と面会しました（メインでご担当していただいた、阿部氏は体調不良で欠席）。

フェア会場は、7階エスカレーター前にある、「新刊・話題書」の反対側の棚を中心に約18本空けて使用し、47社1,126点2,405冊の本が並びました。当初想定した棚10本では足りず、売場面積を拡張していただきました。

売上は5月14日から約1ヶ月で45万円と、「幸先のいいスタート」ということでした。また、全テーマから売上げがあり、大型フェアにすることの相乗効果を実感していただきました。



(石川元委員) (當山委員) (鬼木副幹事) (堀口氏) (武内店長)
(村上副理事長) (池田理事長) (佐藤前店長) (仁科氏) (原田氏) (吉野委員長)

フェアをご覧になっている客層は、中高年の方が中心ですが男女色々で、いつも来店されるお客様がメインになっているとのことでした。

棚に関しては、日々面陳・平積み商品を入れ替えることで、新鮮な状態を維持できるように取り組んでいただきました。今回は例年よりも早く、ポスター掲示とフェア開催告知しおりの配布をスタートしていただき、開催時には、しおりをほぼ配り終えている状態とのことでした。

また、今回は地域誌である「タウンニュース 藤沢版」に広告掲載をした結果、掲載紙をお持ちになって、「フェアはどこで開催していますか？」との問い合わせも多数あり、広告効果がでているとのことでした（6月下旬、茅ヶ崎版にも掲載）。

最後に、原田様から、「残り1ヶ月半、商品の見せ方を工夫しながら、最後まで盛り上げていきます」とお言葉をいただきました。

（販売・出展委員会 フェア小委員会 副幹事 鬼木 大輔：誠文堂新光社）

